

ダイワ・スイス高配当株ツインα(毎月分配型) 最近の投資環境について

2015年1月19日

平素は、「ダイワ・スイス高配当株ツインα(毎月分配型)」をご愛顧賜り、厚く御礼申し上げます。
当ファンドの最近の投資環境について、お知らせいたします。

《ファンドマネージャーのコメント》

※現時点での投資判断を示したものであり、将来の市況環境の変動等を保証するものではありません。

UBS AG、UBSグローバル・アセット・マネジメントのコメントを基に大和投資信託が作成したものです。

＜投資環境＞

15日(現地、以下同様)、SNB(スイス国立銀行)は、2011年9月に導入したスイス・フランの対ユーロ相場での1ユーロ＝1.20フランの上限設定を打ち切ると発表しました。これを受けて、スイス・フランは各通貨に対して急上昇しました。

全く予期されていなかった同発表を受けて、スイス株式市場は大きく調整しており、SPI(スイス・パフォーマンス指数)は16日引値で、14日引値に比べてスイス・フランベースで13.9%の下落となっています。ただし、円ベースのSPIでは、対円でのスイス・フラン高の影響が大きく、上昇しました。

今回の措置を受けた輸出部門の減速により、スイス経済の成長は一定程度の鈍化を余儀なくされるものと考えられます。外国為替については、今週に予定されているECB(欧州中央銀行)理事会の動きなどを注視しつつ当面は不安定な相場展開が続くものと想定されます。しかし、中長期的には輸出先としてウエートの高い対ユーロ、対米ドルのいずれに対しても、長期的な相対インフレ率の動向などを踏まえ、一定程度、スイス・フランの反落が進むものとみえています。また、スイス・フラン高による輸出部門の減速は、足元進行中の原油安とスイス・フラン高による購買力上昇が相まって強含むことが想定される個人消費部門によって、一部が補われることが期待されます。

歴史的にスイス・フランの上昇がトレンドとして続く中で、グローバルに展開するスイス企業は、より収益性の高い分野へのフォーカスや弛みないコスト削減努力を通じて、国際競争力をむしろ強化してきました。今回のスイス・フラン高も、短期的には輸出企業を中心に大きな試練となる一方で、スイス企業が全体として持つ環境変化への高い適応性によって、早晩克服されていくものと考えます。

一方、2015年のスイス企業の利益成長率見通しについては、今回のスイス・フラン高によって、従来の5-12%程度の成長見込みから、0-5%程度へと鈍化するものとみます。これは多くが為替換算効果(スイス・フラン高による外貨建て収益の目減り効果)によるものであり、より本質的には、外貨建ての売上に対応して海外生産比率を引き上げるなど、為替変動による収益への影響を中立化するためにコスト構造面での自助努力をどの程度進めているかを個別銘柄ごとに精査し、長期的な競争優位性へのインパクトを注意深く見定める必要があります。

当資料のお取り扱いにおけるご注意

■当資料は、ファンドの状況や関連する情報等をお知らせするために大和投資信託により作成されたものです。■当ファンドのお申込みにあたっては、販売会社よりお渡しする「投資信託説明書(交付目論見書)」の内容を必ずご確認のうえ、ご自身でご判断ください。■投資信託は、値動きのある有価証券等(外貨建資産には為替リスクもあります)に投資しますので、基準価額は大きく変動します。したがって、投資者のみなさまの投資元本が保証されているものではありません。信託財産に生じた利益および損失は、すべて投資者に帰属します。投資信託は預貯金とは異なります。■投資信託は、預金や保険契約とは異なり、預金保険機構・保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。証券会社以外でご購入いただいた投資信託は、投資者保護基金の対象ではありません。■当資料は、信頼できると考えられる情報源から作成していますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。運用実績などの記載内容は過去の実績であり、将来の成果を示唆・保証するものではありません。また、税金、手数料等を考慮していませんので、投資者のみなさまの実質的な投資成果を示すものではありません。■当資料の中で記載されている内容、数値、図表、意見等は資料作成時点のものであり、今後予告なく変更されることがあります。■分配金は、収益分配方針に基づいて委託会社が決定します。あらかじめ一定の額の分配をお約束するものではありません。分配金を支払わない場合もあります。

販売会社等についてのお問い合わせ⇒ 大和投資信託 フリーダイヤル0120-106212(営業日の9:00～17:00) HP <http://www.daiwa-am.co.jp/>

＜ファンドへの影響＞

当ファンドへの影響については、15日時点でSPI採用銘柄のうち、相対的に輸出比率が高く、収益面への打撃がより大きい消費財企業全般に投資を行っていなかったことから、相対的には限定的なものにとどまるとみています。(実際、15日から16日の期間については、当ファンドの現物株式ポートフォリオ部分の運用パフォーマンスは代表的な市場インデックスを上回って推移しています。)投資先企業の配当支払い能力についても、安定性を維持するものと判断しています。

総じて、日本の投資家にとっては、今回の相場の下落(スイス・フラン建ての株価の下落)よりも、為替面のプラス効果(円安スイス・フラン高の進行)の方が大きく、円ベースではプラスのリターンがもたらされている状況となっています。中期的には、グローバル優良銘柄が多いスイス株式市場は、世界経済の緩やかな回復から恩恵を受けるポジションにあります。したがって、為替市場が今後時間をかけながら安定化していくことが期待される中、スイス株式市場については、引き続き高い投資魅力度を持つとの判断を維持します。

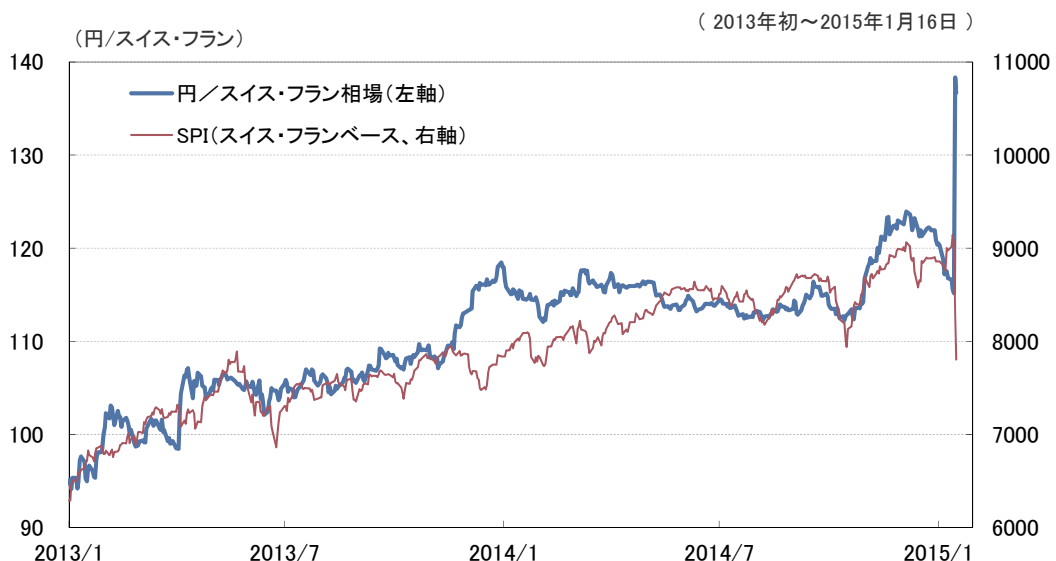
これらの状況を踏まえ、当ファンドでは、今後も、企業価値が株価に十分に反映されていない銘柄などに注目しながら、投資妙味の高い銘柄の組み入れに焦点を当てていく方針です。

＜オプション市況＞

スイス・フラン急騰直後のスイス・フラン円為替取引とSMI指数オプション市場は一時閑散となり市場参加者が一時手控える展開となりましたが、16日には徐々に落ち着きを取り戻し、為替オプションは値動きが荒い市場ではあったものの、流動性は大きく回復しました。

プレミアム水準に関しては、市場変動率の上昇と共に株式オプションと通貨オプションに妙味のある水準となっており、インカム性収入の原資となる、オプションプレミアムは上昇しております。昨年と比べ高水準が続くものと思われますが今後注視していきます。

スイス・フランとSPIの推移



※SPIはスイス証券取引所に上場している企業を広くカバーする株価指数です。
2015年1月16日時点の構成銘柄数は206銘柄です。

(出所)ブルームバーグより大和投資信託作成

以上

収益分配金に関する留意事項

- ◆ 分配金は、預貯金の利息とは異なり、投資信託の純資産から支払われますので、分配金が支払われると、その金額相当分、基準価額は下がります。

投資信託で分配金が支払われるイメージ

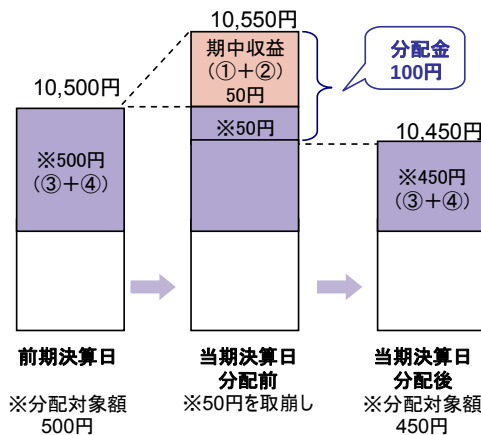
投資信託の純資産

分配金

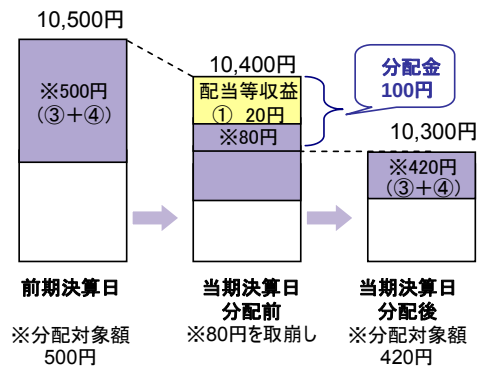
- ◆ 分配金は、計算期間中に発生した収益(経費控除後の配当等収益および評価益を含む売買益)を超えて支払われる場合があります。その場合、当期決算日の基準価額は前期決算日と比べて下落することになります。また、分配金の水準は、必ずしも計算期間におけるファンドの収益率を示すものではありません。

計算期間中に発生した収益を超えて支払われる場合

前期決算日から基準価額が上昇した場合



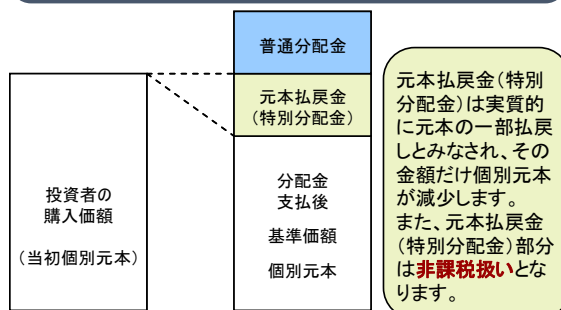
前期決算日から基準価額が下落した場合



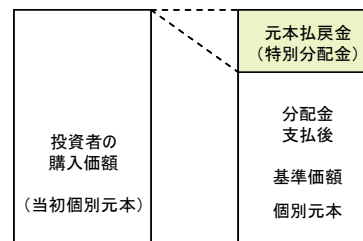
(注) 分配対象額は、①経費控除後の配当等収益および②経費控除後の評価益を含む売買益ならびに③準備積立金および④収益調整金です。分配金は、分配方針に基づき、分配対象額から支払われます。

- ◆ 投資者のファンドの購入価額によっては、分配金の一部または全部が、実質的には元本の一部払戻しに相当する場合があります。ファンド購入後の運用状況により、分配金額より基準価額の値上がり小さかった場合も同様です。

分配金の一部が元本の一部払戻しに相当する場合



分配金の全部が元本の一部払戻しに相当する場合



普通分配金: 個別元本(投資者のファンドの購入価額)を上回る部分からの分配金です。

元本払戻金: 個別元本を下回る部分からの分配金です。分配後の投資者の個別元本は、元本払戻金(特別分配金)の(特別分配金)額だけ減少します。

※上記はイメージであり、実際の分配金額や基準価額を示唆するものではありませんのでご注意ください。

ダイワ・スイス高配当株ツインα(毎月分配型)

お申し込みの際は、必ず「投資信託説明書（交付目論見書）」をご覧ください。

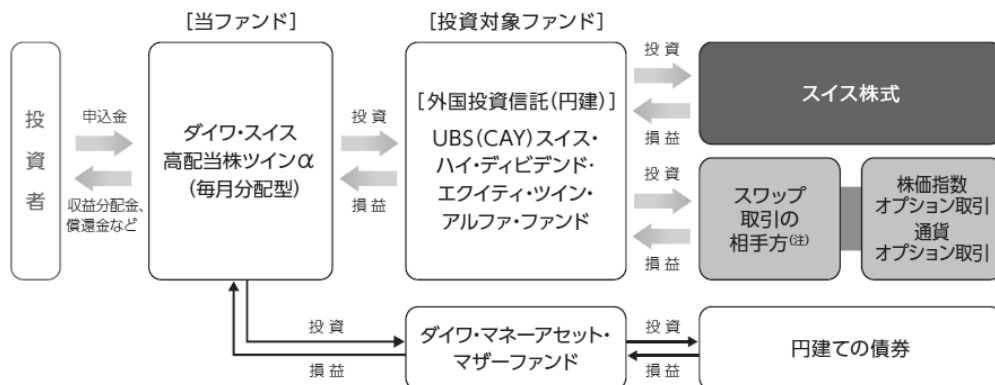
ファンドの目的・特色

ファンドの目的

- 配当利回りの高いスイス株式へ投資するとともに、オプション取引を組み合わせたカバードコール戦略を構築し、高水準のインカム性収益の確保と信託財産の成長をめざします。

ファンドの特色

1. 相対的に配当利回りの高いスイス株式に投資します。
 - 株式の銘柄選択にあたっては、配当利回り水準に着目し、相対的に配当利回りの高い株式を中心に幅広く分散投資を行ないます。
2. オプション取引を活用し、株式および通貨のカバードコール戦略を構築します。
 - コール・オプション（買う権利）を売却することで、オプションプレミアムの確保をめざします。
「オプションプレミアム」とは、オプションの買い手が売り手に支払う対価をいいます。
 - スイス株式、株式カバードコール戦略、通貨カバードコール戦略の運用については、UBS AG、UBS グローバル・アセット・マネジメント（チューリッヒ）が行ないます。
3. 当ファンドは、以下の2本の投資信託証券に投資する「ファンド・オブ・ファンズ」です。
 - 外国投資信託の受益証券を通じて、スイス株式への投資とオプション取引を組み合わせたカバードコール戦略を構築します。
 - 当ファンドが投資対象とする外国投資信託では、スワップ取引を通じて、オプション取引の損益を享受します。ただし、スワップ取引を用いずオプション取引を直接行なう場合があります。



(注) スワップ取引を用いずオプション取引を直接行なう場合があります。

- 当ファンドは、通常の状態では、投資対象とする外国投資信託への投資割合を高位に維持することを基本とします。
4. 毎月17日（休業日の場合翌営業日）に決算を行ない、収益分配方針に基づいて収益の分配を行ないます。
※くわしくは「投資信託説明書（交付目論見書）」の「ファンドの目的・特色」をご覧ください。

投資リスク、ファンドの費用については、次頁をご覧ください。

ダイワ・スイス高配当株ツインα(毎月分配型)

お申し込みの際は、必ず「投資信託説明書（交付目論見書）」をご覧ください。

投資リスク

●当ファンドは、値動きのある有価証券等に投資しますので、基準価額は変動します。したがって、投資元本が保証されているものではなく、これを割込むことがあります。信託財産に生じた利益および損失は、すべて投資者に帰属します。投資信託は預貯金とは異なります。基準価額の主な変動要因は、以下のとおりです。

「株価の変動（価格変動リスク・信用リスク）」、「為替変動リスク」、「カバードコール戦略の利用に伴うリスク」、「カントリー・リスク」、「スワップ取引の利用に伴うリスク」、「その他（解約申込みに伴うリスク等）」

※基準価額の変動要因は、上記に限定されるものではありません。

※くわしくは「投資信託説明書（交付目論見書）」の「投資リスク」をご覧ください。

ファンドの費用

投資者が直接的に負担する費用		
購入時手数料	販売会社が別に定めるものとします。 購入時の申込手数料の料率の上限は 3.24%（税抜 3.0%）です。	
信託財産留保額	1 万口当たり換金申込受付日の翌営業日の基準価額の 0.3%	
投資者が信託財産で間接的に負担する費用		
運用管理費用 （信託報酬）	毎日、信託財産の純資産総額に対して年率 1.323%（税抜 1.225%） ※運用管理費用は、毎計算期末または信託終了のときに信託財産中から支弁します。	
投資対象とする投資信託証券	年率 0.69%程度	
実質的に負担する運用管理費用	年率 2.013%（税込）程度	
その他の費用・ 手数料	監査報酬、有価証券売買時の売買委託手数料、先物取引・オプション取引等に要する費用、資産を外国で保管する場合の費用等を信託財産でご負担いただきます。 ※「その他の費用・手数料」については、運用状況等により変動するため、事前に料率、上限額等を示すことができません。	

※手数料等の合計額については、保有期間等に応じて異なりますので、表示することができません。

※くわしくは「投資信託説明書（交付目論見書）」の「手続・手数料等」をご覧ください。

販売会社:

大和証券
Daiwa Securities

商号等 大和証券株式会社
金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第108号
加入協会 日本証券業協会
一般社団法人日本投資顧問業協会
一般社団法人金融先物取引業協会
一般社団法人第二種金融商品取引業協会

設定・運用:

大和投資信託
Daiwa Asset Management

商号等 大和証券投資信託委託株式会社
金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第352号
加入協会 一般社団法人投資信託協会
一般社団法人日本投資顧問業協会